

令和元年度第1回境港市総合教育会議
会議録

令和元年11月29日

令和元年度第1回境港市総合教育会議

1. 日 時 令和元年11月29日（金） 開会 15時30分
閉会 16時30分

2. 場 所 市役所第一会議室

3. 出席者

<市長> 境港市長 中村 勝治

<教育委員会> 教 育 長 松本 敏浩
職務代理者 中田 耕治
委 員 徳永 由樹
委 員 十河 淳
委 員 渡邊不二子

<事務局> 総務部
総務部次長兼総務課長 渡辺 文
総務課長補佐兼行政係長 門脇 健一
教育委員会事務局
教育委員会事務局長 松原 隆
教育委員会事務局次長兼教育総務課長 木村 晋一
生涯学習課長 黒崎 享
教育総務課長補佐兼指導係長 柳樂 力人
教育総務課管理係長 荒岡 真樹（書記）

<傍聴者数> なし

4. 会議の概要

(1) 開会

(2) 市長あいさつ

(3) 協議・調整事項

①令和2年度当初予算編成について

中村市長

本日の協議・調整事項は令和2年度当初予算編成についてでござ

ございます。先月25日に予算編成方針説明会を開催し、来年度予算の編成について基本方針や要求基準等を各部課長へ示しました。各課から予算要求書が提出されましたが、来年度の予算編成にあたり、教育委員の皆さま方から率直なご意見等をいただきたいと思いますと考えております。

まずは教育関係の令和2年度当初予算編成及び概算要求の状況等について、事務局から説明をお願いいたします。

※事務局から資料に基づき説明

中村市長

ただいま事務局の方から概算要求の説明がありましたが、予算要求までに、事業内容をさらに精査して財源の確保について指示したところでございます。ご覧のように概算要求の内容は、ソフト事業は外国語指導助手招致事業だけで、それ以外はハード事業になっています。予算要求する際に、概算要求以外でも、教育委員の意向の聞き取りはしていますか。概算要求は、300万円以上の事業や新規事業が対象ですが、300万円未満のソフト事業も大事ですので、教育委員の意向を聞くことが必要だと思います。

松本教育長

ご指摘のとおりだと思います。毎月開催している定例教育委員会の中で、ご意見をいただいて、それを受けての事業化はありますが改めて、予算を編成する際に教育委員の意見をいただくというのは大切だと思います。

中村市長

A L T（外国語指導助手）の配置について小学校3・4年生で週1時間、5・6年生で週2時間の授業をしっかりとやっていきます。英語教育が、全国で一斉に始まりますので、他の自治体よりも充実した環境をつくれなにかということ、教育長と相談して、国からの助成措置がない民間のA L Tを市独自で財源を賄って6名配置することを考えています。こういったソフト事業の面でも教育委員の意見を反映できるようにしてください。

松本教育長

今後は、工夫をして取り組みたいと思います。

中村市長

概算要求の内容にかぎらず委員の皆さんのご意見をいただけたら、予算の査定をする際にも大変参考になりますのでよろしく申し上げます。

徳永委員

連合体育大会のテントの運搬費用についてですが、昨年までは、業者に学校からテントを運ぶのにトラック4台、会場から帰るためにトラック4台、計8台で7万5・6千円をお願いしていたようです。今年、見積をとって見たら25万円ぐらいになって、この価格について私に問い合わせがありました。それは、7万5・6千円で実施していた方がおかしいと思いました。私の会社でも車1台あたり、3万円程度を見積もるので8台で換算すると妥当な金額ではないかという話をしました。私の会社に運搬の相談もされましたが、学校に進入できるサイズの車が無くて、協力できませんでした。結局、清掃センターのトラックを借りたり、保護者に協力をお願いしたりして運搬したようでした。

中村市長

そういった経費はどうやって支出していますか。

木村次長

市から補助金を体育振興会などに出しておりそこから支出しています。補助金の積算基礎をもらって、その額を予算要求するようになっています。

徳永委員

来年度は、大会前日に2台、当日に3台を業者に依頼するようになっているようです。前日の2台は往復で2回運搬して、当日の3台のうち1台が2回運搬することになります。折り返しの運搬になるので、時間がかかることになり、多くの教員の待機時間が長くなりますが、大会の運営上、それでいいのでしょうか。

中村市長

そういった作業は、テントの運び出しや積み込み、撤収や、片づけも業者にお願ひできませんか。

松本教育長

来年度の要望はどうなっていますか。

木村次長

徳永委員が言われた通り、計5台の要望になっています。急激な予算額の上昇を抑えるために工夫していただいています。

黒崎課長

ヨットのレーザ一級世界選手権の際にお世話になったイベント会社だとテントの貸出・運搬・設置などを請け負ってもらえるとと思いますが、費用面は確認が必要です。

中村市長

学校の先生に負担がかからないように効率的な手段を検討したほうがいいと思います。そのほかにご意見がありませんか。

十河委員

外国語指導助手招致事業で、ALTを増員するということが、先ほどの定例教育委員会でも話題になりましたが、地域の英語が堪能な人を活用するというのを、もっと進めていくことも必要ではないでしょうか。小学生の英語の授業が始まりますが、英語をもっと身近に感じてもらいたいと思います。

中村市長

十河委員が言われたとおり、私も教育委員会事務局に言っているのは、ALTを配置はしますが、さらに超えて、英語が堪能な市民がたくさんいますので活用してはどうかということです。たとえば、市で雇用するなどして、小学校英語教育にかかわってもらいたいということができないかという話をしていました。こういったことが、今進めている、コミュニティ・スクールの取組だと思います。現在、境港市には、ベトナムなどから実習生が来ていますが、日本語や日本文化を勉強してもらうために、ボランティアをお願いしたところ30数名の協力が得られました。そういった取組が学校でもできれば、まさにコミュニティ・スクールではないかという話をしました。積極的に考えていかなければなりません。そのほかご意見がありませんか。

渡邊委員

安全・安心の学校が一番なのでハード面の防火シャッターの改修など、日常的に見過ごしてしまうところも学校生活の基本となるものなので対応していただきたいと思います。英語教育についても、GTECなどの試験を受けさせてもらえる財政的なバックアップも大変ありがたく思います。これからプログラミング教育も始まりますので、学校LAN配線張替事業できちんと整備をしていただきたい。これから学校でのパソコンの使用は逃れられないところだと思います。デジタル教科書も他市町村で導入されていますので、紙媒体だけでなく、デジタルでの資料活用なども整備に併せて、国の設備投資への補助を活用して、充実していただきたいと思います。

中村市長

LAN配線の張替は、何か年で実施しますか。

木村次長

現在10校あるうちの一中、二中は現在の配線を使用できます。

12、3年前の配線は、古い規格の配線を使用しているので、複数台のパソコンを同時に使用すると、通信速度が遅くなる状況です。これを、段階的に張り替える作業を行うために、まずは設計をしなければいけないという状況です。

松本教育長

パソコン等の導入については、国から整備するようにと指示があり、補助金を出してもらえることになっていますが、いつまでも補助金制度があるわけではありません。事業を実施したいときに、補助金制度がなくなることがないように、実施するようと言われています。これまでは、3人に1台のパソコンを整備することについて、国は補助をすと言っていました。最近のニュースでは、1人に1台のパソコンを整備するという方向になってきています。境港市も、できるだけ整備をしていきたいと思っています。計画をきちんとつくりながら、予算要求に臨んでいきたいと思っています。

中村市長

そのほかご意見がありませんか。

中田委員

コミュニティ・スクールが今年から導入され、私も一中のコミュニティ・スクールにかかわっていますが、コミュニティ・スクールを学校と地域で動かそうとしたときに、学校だけではうまくまわらない部分を地域で動くときに、公民館が地域の拠点となってくると思います。公民館自体が、今の業務にコミュニティ・スクールの業務が加えられると、動ける体制になっているかどうか非常に気になります。公民館は、今の状況でいっぱいなので、そこにコミュニティ・スクールが入ってくるとどうなるのか、無理ではないか、という話を教育委員の間でもしていました。学校だけでなく、地域の公民館にも人的であったり予算的であったり配慮が考えてもらえないでしょうか。

中村市長

現在、公民館には職員が何名配置されていますか。

黒崎課長

館長1名と非常勤の主事が3名です。

徳永委員

地域の行事をするだけで精いっぱいのようなのです。

中田委員

非常勤の時間数の中でこなせるかどうかにも検討しないといけな

いと思います。

中村市長

コミュニティ・スクールを構築していく中で、検討するようにしてください。ほかにご意見がありませんか。

十河委員

境港市では、個人ひとりひとりに合わせた教育を実施していただいていると思いますが、先日の文部科学省の指針にありましたが、不登校の子の対策であったり、学校に行き辛さを感じている子どもたちのケアであったり、どんな学び方でもいいというところもあります。公民館の拠点もそうなんですが、子どもたちに第三の場所を提供するようなことも含めて、子どもたちひとりひとりに合わせた、学校を好きになれるような環境をさらにすすめていただきたいと思います。

松本教育長

そのことについて、考える中で第三の居場所づくりの一つとして、放課後を児童クラブとして境港市は実施していますが、これは重要なことなのですが、それとは別に、放課後子ども教室という事業がありまして、これは予算を伴わずに、たとえば公民館の大人の講座の中に子どもたちも参加して、放課後に大人と子どもと一緒に勉強するような、あるいは、学校の図書室で、自らの勉強をして放課後を過ごすとか、そういった非常に幅のある学習活動環境という事業もあります。境港市も児童クラブを維持しながら、放課後子ども教室的なことを地域や公民館と相談しながらできればいいと思います。学校の図書室を活用するようなこともやってみたいと思っています。

中田委員

十河委員が言われたことに関係しますが、学校に行きにくい、コミュニケーションがとりにくい子どもたち、そういった子どもたちへの学習支援や就労支援の場が見えてこない。目に見えないところですが大事なところだと思います。私も境港市ではないですが、交流しているところがありまして、そこでは就労支援や学習支援を民間がNPO法人を立ち上げてやっています。市から助成をもらっていますが、就労支援の部分の助成がなくなることになって非常に苦慮しているそうです。学校や公民館に行ける子どもたちはまだよいと思いますが、そこに行けない子どもたち、家から出られない子どもたちはたくさんいますので、そういった子どもたちの支援の場というのも申し少し考えていただけたらあり

がたいと思います。

中村市長 現在、やすらぎルームは何名が利用していますか。

木村次長 通室生は、6人です。中学生が5人で小学生が1人です。やすらぎルームに来たり、学校に行ったりしています。ずっと、やすらぎルームに通っているわけではないです。やすらぎルームに通えない子どももたくさんいます。

中村市長 小中学校から報告されている不登校児童生徒数は何名ですか。

松原事務局長 10月末で、小学校が2人、中学校13人です。

松本教育長 境港市の不登校の数は鳥取県内でも一番少ないほうです。これは、子育て支援課の協力が強くて、すぐに、家庭支援・子ども支援に動いてもらっています。それが不登校の数を減らしています。ただ、家庭の環境は依然として厳しさがあります。しっかり支えていかないといけません。我々も福祉課と協力していかないと、不登校の数がこれから増える危険性があります。

中村市長 中学校は半分ぐらいがやすらぎルームを利用しており、半分がやすらぎルームに通室することができないということですね。第三の居場所づくりとなると、どういったことが考えられますか。

木村次長 児童生徒によって、学校には行けるけれども、教室には上がれなくて、保健室などで授業を受けたり、テストを受けたりしています。いろいろなタイプがありますので、それぞれの子どもに合った対応を各学校はしています。

中村市長 そういった状況でも、学校に行くことができない子どもたちにはどういったことができますか。

松本教育長 家に閉じこもって、昼と夜が逆転しているような生活をする子どももいます。そういった中で、中田委員が安来市でかかわっている団体は、農業を子どもたちに体験させて、体を動かして汗をかいたりすることが非常に効果的であると言われていています。まだ境港市ではそういったことができていません。

中村市長 シンガポールだったら冬休みでも行けませんか。そうしたら男子の参加も増えるかもしれません。

松本教育長 シンガポールであれば冬休みでもいいと思います。鳥取市は、オーストラリアで、オーストラリアの冬場に行ってます。オーストラリアも北部に行けば、赤道が近いので、冬に行ってもあたたかいです。時期は夏休みに固定しなくても、実施可能かと思います。小学校の場合は、うきうきイングリッシュがいろいろな人と英語を楽しみながら、かかわることができます。中学校になると、英語は受験のための勉強という要素が多くなっています。

中村市長 今年、シンガポールに行った際にはホームステイだったので英語で生活していたのですね。

木村次長 日本語がわからない家庭に宿泊しましたので英語とジェスチャーでコミュニケーションをしていました。

中村市長 そういうことを経験すると、まちなかでも自然と英語が出るようになるのではないのでしょうか。来年度は、時期を見直してみたらどうでしょうか。

松本教育長 学校と相談してみます。

松原事務局長 夏休みは1カ月程度あるので、時期的に行きやすいということもあります。

中村市長 せっかく費用をかけて行う事業なので少しでも実効性がある時期や場所を考えてみてください。

渡邊委員 小学校も中学校も「自分にはいいところがある」といった自尊感情が高いというところはすごくうれしく思います。いろいろなことをやっていく動機づけには自尊感情が高くないと活動的になれないので、学校も家庭も一緒に育ててもらえているのかと感じました。地域の行事に参加しているなどこれからコミュニティ・スクールをさらに進めていく中でたいへん親和性の高いアンケート項目なのでますます発展していけると思います。

中村市長 中学校が、数学・英語ともによい結果がでています。今回の学年の子が小学校の調査の時はどうでしたか。

松原事務局長 やはり小学校の時にもよい結果が出ていました。

松本教育長 自尊感情が高いというのは、自分はまわりから認められているという実感を持っているということだと思いますので、人間関係作りとか家庭環境も影響しているかと思います。この傾向をこれからも続けていければいいと思います。中学校の雰囲気は、とてもよくて、授業の時には非常に緊張感を持って臨んでいます。運動会などの行事も活気のある動きをしています。期待感が大きいです。

中村市長 中学生が地域の行事にたくさん参加しています。本当にいいことだと思います。そのほか意見がありませんか。

十河委員 学力調査の結果が改善傾向にあると言われますが、普段の家庭学習の時間が少ないということがありますので、先生の負担になって申し訳ないのですが、家庭に対してもアピールをしていただいて、家庭を巻き込んでいただきたいと思います。

中村市長 そのほかご意見がありませんか。(なし) そういたしますと、本日協議・調整いたしました内容について、今後、教育委員会で協議していただいて、新年度の教育行政に向かっていただきますようお願いいたします。

事務局から報告事項がありませんか。

※松原事務局長がコミュニティ・スクール、余子小・誠道小統合準備委員会の状況報告

中村市長 ただいまの報告事項について質問がありませんか。(なし)
それでは、本日予定しておりました協議・調整事項は以上となります。ありがとうございました。